

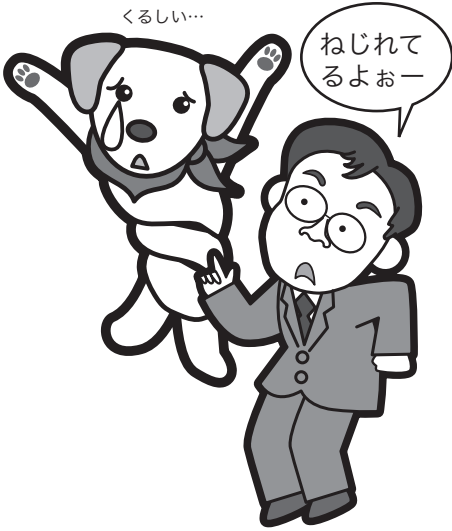
『ねじれ』しているのは民主党!? 暫定税率、 高齢者医療 高年齢者医療 県予算にあっさり賛成

ガソリン税などの暫定税率と後期高齢者医療制度に対して、国会で民主党は「反対」を旗印に攻勢をかけていますが、果たして埼玉県議会の民主党は？

県の平成二十年度一般会計予算には当然ながら暫定税率分約二百五十億円と後期高齢者医療制度関連予算約三百五十五億円が含まれていました。制度に反対するならば、予算についても反対すべき

ところですが、民主党はあっさり賛成。『ねじれ国会』と言われていますが、民主党は国と地方が『ねじれ』しています。イメージ先行の国政では無責任に反対していはれませんが、現場に近い地方議会ではそうはいきません。予定していた仕事ができなくなり、県民生活は大混乱します。 凶らずも、新年度県予算に賛成した民主党県議

「政局優先・生活置き去り」という民主党中央の本音を浮き彫りにする結果となりました。



高校中退者が 二年連続減少 就業体験など対策が効果

平成十九年度の県内公立高校の中途退学者数が、全日制と定時制合わせて、前年度より二百三十八人少ない三千二百三十七人で、二年連続で減少し、過去十四年間で最少となりました。



平成十七年の西山質問を受けて、翌年から県教育局の本格的な対策が始まりました。中退率が高い県内の高校十五校（一年生）を対象に、就業体験活動など三つの中退防止プログラムが実施されており、その成果が出つつあると教育局は分析しています。

● 視察で感じたこと ●

特に、就業体験活動を実施した五校では、一年生の中退率が四三%も減少するという大きな効果が出ています。



人間として本当に立派なのは？

私はなぜ障害者を働かせるのかと、悪人扱いされました。しかし、コンクリートの建物の中で一律に保護しても、肝心の障害者の方が幸せとっておられないんです」と語り、働くことを中心にした自立支援の在り方を全国に発信し続け、現在は長崎県全域で千三百名の障害者の自立を支援しています。

今年一月末に私が委員長を務めた県議会の委員会視察で、長崎県雲仙市にある、「コロニー雲仙」を訪ねました。

「コロニー雲仙」は、障害者の自立支援では全国でも先駆的な試みで知られています。当日、対応してくださった田島理事長の情熱と確信にあふれたお話が印象的でした。

田島理事長は、「昔、

見習うべきだ...!

